

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

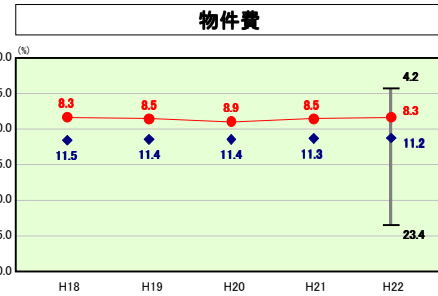
北海道小平町

経常収支比率の分析

人口	3,669人	(H23.3.31現在)	実収支	-	%
面積	627.29	k㎡	実収支	-	%
入出総額	4,621,737	千円	実収支	17.9	%
入出総額	4,460,858	千円	実収支	89.3	%
実収支	97,905	千円	市町村類型	H18	I-O
標準財政規模	2,967,910	千円	(年度)	H21	I-O
地方債現在高	6,214,778	千円		H22	I-O

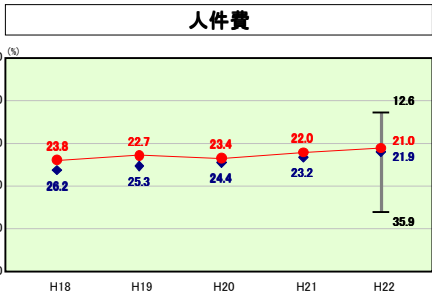
● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



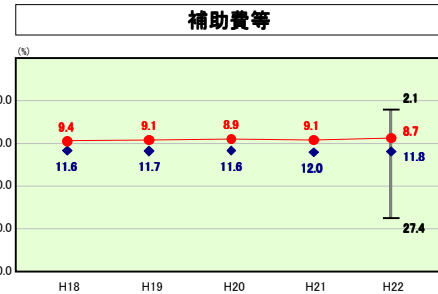
類似団体内順位 20/123 全国平均 12.8 北海道平均 10.9

物件費の分析欄
物件費に係る経常収支比率が、類似団体平均を下回っているのは、予算要求時に経常経費をゼロベースで見直すよう意思統一がなされていることが挙げられるが、各種の委託料や使用料及び賃貸借料が固定化していることから、これらを削減を含めた事務事業の見直しを行い、より一層の経費削減を図る。



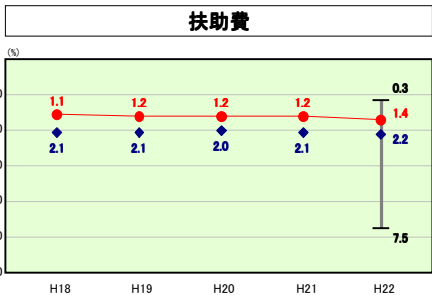
類似団体内順位 47/123 全国平均 25.1 北海道平均 22.6

人件費の分析欄
類似団体平均と比較すると、人件費に係る経常収支比率は若干低くなっているが、要因としてゴミ処理などの衛生業務や消防業務を一部事務組合で行っていることが挙げられる。一部事務組合の人件費分に充てる負担金を合計した場合の人口1人当たりの歳出決算額は、類似団体平均を3.4ポイント上回っており、今後はこれらも含めた人件費関係経費全体について、抑制していく必要がある。



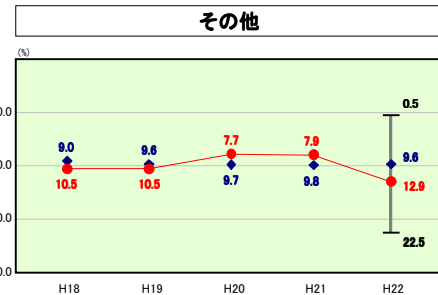
類似団体内順位 37/123 全国平均 10.1 北海道平均 11.6

補助費等の分析欄
補助費等に係る経常収支比率は、過去5年間に於いても類似団体平均を下回っており、今後は各種補助金、負担金等の目的や内容を精査しながら適正な執行に努める。



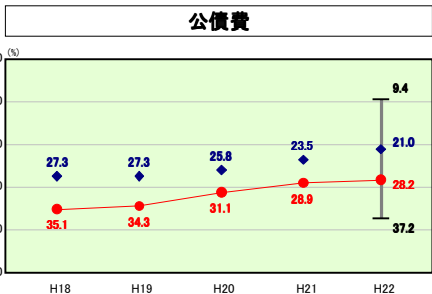
類似団体内順位 34/123 全国平均 10.4 北海道平均 9.6

扶助費の分析欄
扶助費に係る経常収支比率は、過去5年間に於いても類似団体平均を下回っており、今後においても保健指導の強化や単独事業の見直しを図り、継続的な経費の削減に努める。



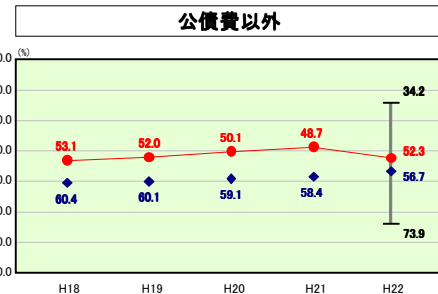
類似団体内順位 98/123 全国平均 11.8 北海道平均 11.6

その他の分析欄
他会計に対する繰出金の決算額は、前年度を下回ったものの、経常収支比率が類似団体平均を上回っているのは、下水道事業特別会計に対する繰出金の経常一般財源に対する割合が高いことによるものである。これは、分流式下水道等に要する経費が多額であることが要因であるため、今後は経営努力による維持管理費の節減に努め、一般会計の負担を圧縮するよう努める。



類似団体内順位 112/123 全国平均 19.0 北海道平均 21.2

公債費の分析欄
過去に実施した大型の公共施設建設事業及び下水道整備事業に係る既償債の償還が多額であったため、類似団体よりも高い数値を示しているが、起債の償還は既にピークを過ぎており、年々減少していくことが予想される。今後は更なる数値の改善を目指し、後世への負担を少しでも軽減できるよう、新規の起債発行については、より一層計画的に進めていく必要がある。



類似団体内順位 25/123 全国平均 70.2 北海道平均 66.3

公債費以外の分析欄
公債費以外の経常収支比率は類似団体、全国・北海道平均を下回っているが、各種の委託料や使用料及び賃貸借料に係る物件費や公共施設等の維持補修費、繰出金などにおける経常収支比率は増加傾向にある。加えて、歳入面での町税、普通交付税、臨時財政対策債は減少傾向にあることから、今後は義務的経費の圧縮を図り、財政構造の弾力性確保に努める。